



日本共産党 和歌山市会議員  
南畑 さち代

日本共産党

こんにちは 市会議員  
南畑さち代 です

2012・8・5  
連絡先  
453-7758

# 6月議会報告 滝畑地域の 大洪水の降雨量データ「存在せず」

滝畑に計画予定の産廃最終処分場は、回以外にないと質問しました。

計画が明らかになって1年が経過しました。建設反対の声はますます広がっています。滝畑住民にとって森林伐採による洪水被害の恐れは大きな反対理由です。林地開発許可は県となっております。「下流地域において水害を発生させる恐れがないこと」とされています。しかし、どのように不安解消が担保されるのか問題です。

滝畑川は、1995（平成7）年7月4日に氾濫し、大きな被害が出ています。私は、住民不安の解消は計画撤



1995（平成7）年7月4日の滝畑川の氾濫

## 洪水被害について

**質問** 11ヘクタールの森林伐採による洪水被害をどのように予測しているのか。

**答弁** 1ヘクタール以上の開発行為は、県知事の許可が必要。許可申請があった場合、県において災害の防止、水害の防止等の観点から厳正な審査が行われる。市として水害・災害防止、水源確保、環境保全の観点から意見をのべたい。

**質問** 事業者の提出している調整池の構造と規模が住民不安に対応するものとなっているのか。

**答弁** 調整池の構造と規模は、滝畑川の流下能力を超え、市道等が冠水し被害がおこることのないように県が事業者に適切に指導するものと考えている。50年に1回というまれな大雨を想定した規模とするよう県において指導されているとのことである。

**質問** 滝畑は平成7年7月に大洪水があった。この日の滝畑地区の雨量測定値はどうなっているのか。

**答弁** 滝畑地区には雨量の測定地点がないため不明。和歌山地方気象台とは12km離れており、風向きや地形等が異なるので、ほとんどの場合降雨量に

ついても異なった数値になるのが当然と考える。

## 飲み水 「原水に影響」！

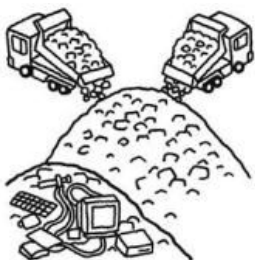
**質問** 水道局は昨年4月、産廃最終処分場は滝畑浄水場の集水域外への設置、もしくは浄水場の取水施設を、現況の推量及び水質が確保できる場所へ移転をとの意見だがその根拠は。

**答弁** 建設予定地が飲料水を供給する滝畑浄水場の集水域に入っていること、原水水質に影響があることも考えられることから意見書を提出したものである。

## 調整池設置の 「住民の同意」について

**質問** 調整池設置の場合、市の管理する里道と林道の用途廃止や払い下げが必要な時、自治会の同意は必要か。

**答弁** 通常、地元自治会や土地所有者等との間で紛争が生じない証しとして、同意を得るよう指導している。



# 通学路の安全を

京都府亀岡市などで、通学路に車が突っ込む事故が相次ぎ、文部科学省が「通学路の安全確保」に乗り出す方針を固めました。

05年、新日本婦人の会が市に対し、「紀伊駅から川永団地に向かう市道に街灯と歩道を！」と要望したが実現していない。また、現在各学校から出されている要望に対し教育委員会として、どう取り組むのか質しました。

【答弁】 市道紀伊149号線及び同線から川永団地までの市道は地元からの要望で、歩道幅員1.5mを確保し14年度に完成予定で進めている。完了後は外側線の白線およびポストコーン等の設置を考えている。19校園から出されている要望については関係機関と連携し早期に取り組みで行く。

6月28日、滝畑・山口連合自治会は市長に「安定型産業廃棄物最終処分場建設反対」の署名3万筆を提出されました。これで合計12万筆となりました。市役所前広場で開かれた集会では、阪南市の方が「私たちは被害を受ける当事者です。撤回までがんばりましょう」と挨拶されました。計画地域の林地開発許可権は県知事となっていることから、参加者は市役所から県庁までデモ行進をしました。

# 産廃反対署名12万筆



6月28日、滝畑・山口連合自治会は市長に「安定型産業廃棄物最終処分場建設反対」の署名3万筆を提出されました。これで合計12万筆となりました。市役所前広場で開かれた集会では、阪南市の方が「私たちは被害を受ける当事者です。撤回までがんばりましょう」と挨拶されました。計画地域の林地開発許可権は県知事となっていることから、参加者は市役所から県庁までデモ行進をしました。

## 建設計画地は群発地震の集中地 熊井久雄氏が学習会で指摘

7月28日、共産党市議団は、大阪市立大学大学院名誉教授・熊井久雄先生に滝畑の計画予定地を市議団と地元の方々と一緒に歩いて調査していただきました。

熊井先生は、翌29日には山口連合自治会主催の「命の水を守れ、産廃計画ここが問題」の学習会で講師をされました。「計画地付近は10年以上続いている和歌山市北部の群発地震の集中地域になっている（『地震本部ニュース』毎月発行より）。予想されている東南海地震が発生した場合はこの地域が大きく動く危険性があると思われる。計画地とすぐ南側の谷との落差は異常に大きく、中古生界の砂岩の透水性や割れ目、地下水の移動には細心の注意が必要」などができましました。

## 紀三井寺団地で

# 「地域バス」調査運行実施！

和歌山市初の「地域バス」の導入に向け、調査運行が7月23日～27日の5日間実施されました。

これは、09年10月に紀三井寺団地内を走るバス路線が廃止され、地域の皆さんは、反対の署名運動や市に対し「地域バス」の導入に取り組んでこられました。地域の皆さんの運行計画がまとまり、市に

対し地域バス導入申請をされたことから、紀三井寺地区で策定された運行計画について、利用状況や運行ルート、バス停位置の安全性等を検証するための調査運行です。マイクローバス29人乗り、オークワ紀三井寺店と和歌山県立医大と紀三井寺駅までの間、運賃は無料、1日6往復で、私も乗車しました。

※8月のお盆休みは法律・生活相談も休みです

### 無料生活法律相談

日時：9月5日(水)・19日(水)  
午後6時～7時  
会場：河西診療所組合員ホール  
申込：南畑幸代まで

### 無料生活相談

日時：毎週木曜日  
午前10時～12時  
午後6時半～8時  
〔緊急の場合はお電話で。夜の部は予約してください〕  
会場：南畑幸代生活相談所  
TEL 453-3418 または 453-7758(自宅)  
和歌山市善明寺411-4

相談実施中は看板を出しています

お問い合わせは南畑幸代まで  
435-1113 (日本共産党市議団直通)